

アイスホッケー下部リーグ
構想

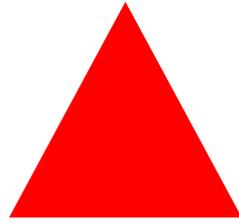
公益財団法人日本アイスホッケー連盟は、今後の日本アイスホッケー界の発展を目指し、日々活動を行っております。

この度、日本国内におけるトップリーグ参加チームの増加、各チームの成長を目的とし、現在のトップリーグであるアジアリーグの下に、下部リーグの創設を検討しております。

当該リーグについては当連盟が主導するリーグであり、その構想については添付資料をご参照ください。

(当資料に記載されている内容はまだ「構想」であり、正式に決定したものではありません。)

現在の姿



アジアリーグ：プロもしくはデュアルキャリア
直近では学生から目指す選手が数名



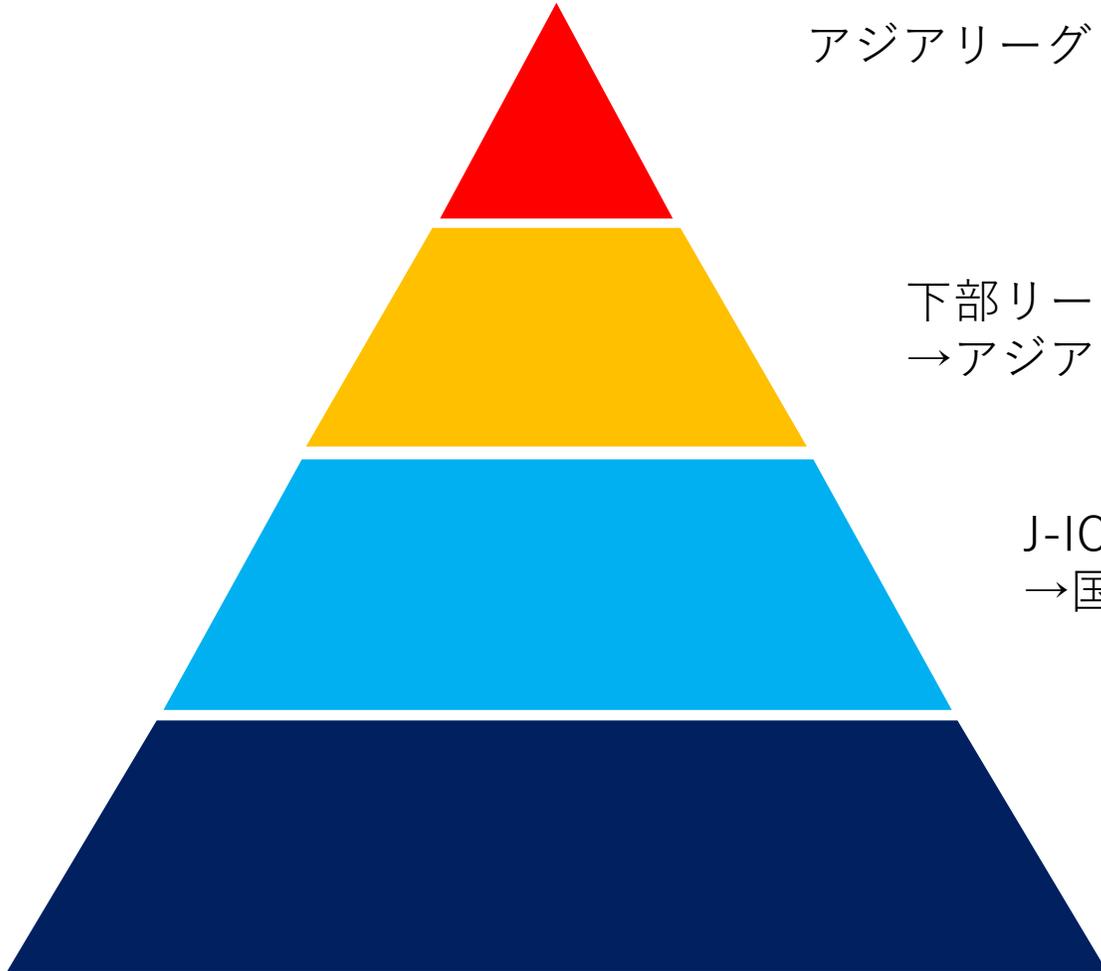
距離感



J-ICE/各地域社会人リーグ：アジアリーグ昇格は目指していない
元アジアリーガーも数名在籍

大学リーグ：アジアリーグを目指す選手が数名
他は社会人リーグなどで継続

直近で目指す姿



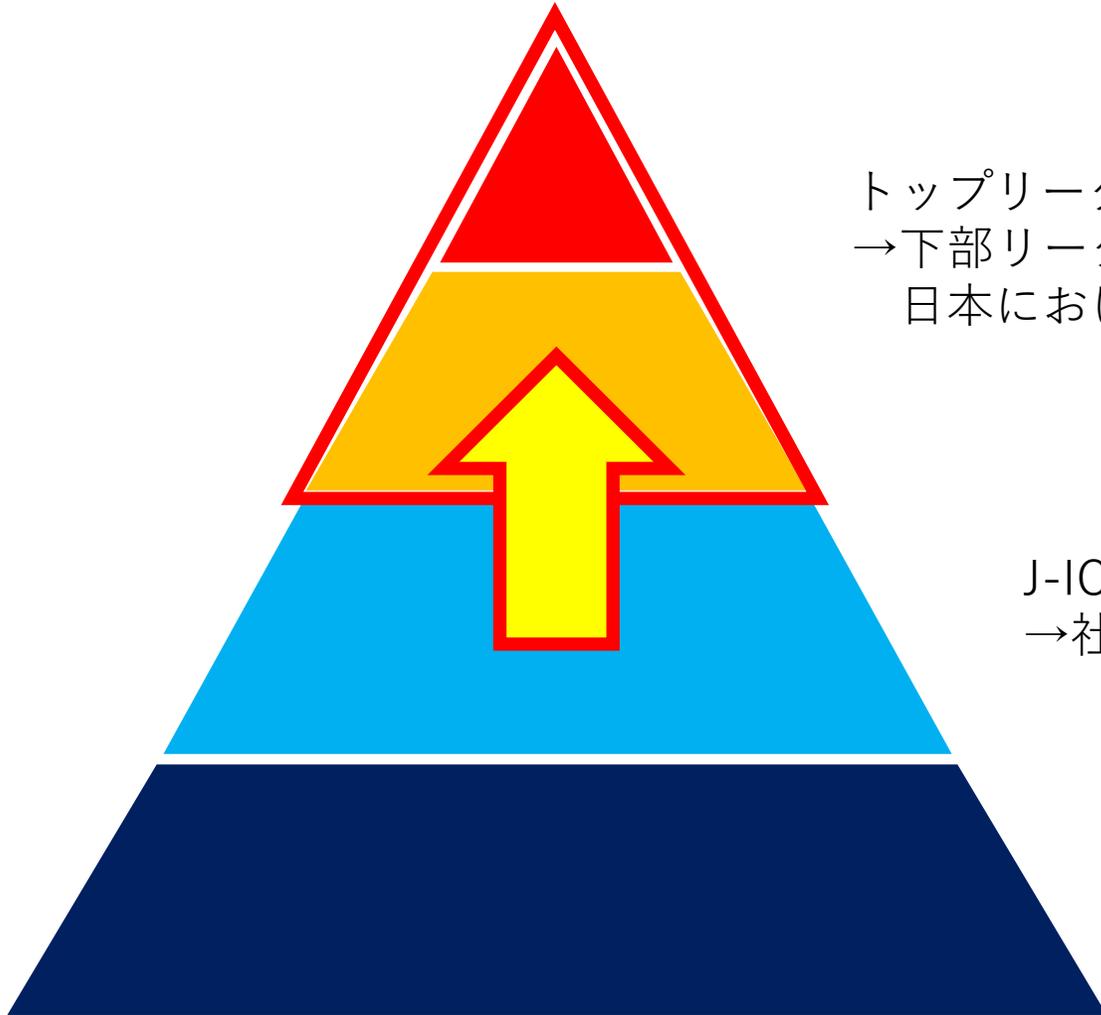
アジアリーグ：プロもしくはデュアルキャリア

下部リーグ：プロもしくはデュアルキャリア
→アジアリーグ参画前のチーム、経営強化も目論む

J-ICE/各地域社会人リーグ：実業団もしくはデュアルキャリア
→国内新リーグへの加入も検討可能

大学リーグ
→選手の希望で各リーグに挑戦

将来的に目指す姿



トップリーグ：プロもしくはデュアルキャリア
→下部リーグが拡大、さらにはトップリーグと統合し、
日本におけるアイスホッケーリーグが拡大すること

J-ICE/各地域社会人リーグ：実業団もしくはデュアルキャリア
→社会人リーグがトップリーグに参戦する意思を持ち始めること

大学リーグ
→様々なリーグ、チーム、雇用形態を選択できる状態

アイスホッケー下部リーグ 構想

主催 : (公財) 日本アイスホッケー連盟

主管 : 各地域アイスホッケー連盟

リーグ名称 : 未定

開催期間 : 2025年10月～2026年3月 (予定)

参加チーム数 : 4-6チームを想定

開催形式 : 4回戦総当たりリーグ戦 (参加チーム決定次第協議)

その他 : リーグ開催要綱は参加チームが確定した後に日本アイスホッケー連盟と各チーム間で協議して決定

2025-2026シーズン構想

2025年
5月

2025年
9月

2025年
12月

2026年
3月



下部リーグ

レギュラーシーズン開幕



5チーム8回戦総当たり
全80試合 (15週間)



AL
プレーオフ

新リーグ開幕



4-6チーム4回戦総当たり
全24-60試合 (6-10週間)



全日本
選手権



新リーグ
プレーオフ
(仮)

アイスホッケー下部リーグ構想 参加条件（案）

- （公財）日本アイスホッケー連盟登録チームであること
- 2025年10月以降、ホームリンクとして6試合-10試合分のスケートリンクを確保できること
（具体的な確保状況をご用意ください）
- 試合運営にあたり、各所属地域連盟の協力を得られる承諾を取っていること
- リーグ参加のための供託金の支払いが可能であること
（具体的な費用については参加チーム数が確定し次第協議、支払い確認が参加条件となる）
- チームオーナー並びに事務担当者、計2名の人材をリーグ運営のために提供できること
（全チームがリーグ運営に参加し、リーグの成長に資する活動をしていただきます）
- 1年間のチーム運営が可能な財務状況であること
（財務資料の提出などをお願いする可能性があります）
- 下部リーグはチーム、選手の育成とともに、レフェリーの育成も目指したリーグであり、このような思想に合意できるチームであること

アイスホッケー下部リーグ構想 今後のスケジュール（案）

2025年2月下旬	WEB会議による説明会を実施
2025年3月下旬	2025シーズン参加希望チーム一次募集締切
2025年4月下旬	2025シーズン リーグ参加チーム確定
2025年5月下旬	2025シーズン リーグ概要決定、発表
2025年10月初旬	2025シーズン リーグ開幕